

## パソコンを買い替える

小嶋祥三

10年以上使ったパソコンの調子が悪くなってきた。OSはWindows Vistaである。全く動かないわけではないが、Vistaのサポートが終わるのがこの4月なので買い替えることにした。新しいパソコンもこれから10年くらいはもつだろうから、その時わたしは80歳半ば。どうもコンピュータより自分が先に逝きそうである。ということは、これが自分の買う最後のコンピュータということになるようだ。

購入したのはWindows 10のパソコンで、よせばいいのに、安いのが魅力で（ナニセ、年金生活者）、あれこれカスタマイズできるdirectの製品にした。お店で出来合いのものを買うよりもセットアップでは自分がやらなければいけない部分が多いかもしれない。図書館とのVPN接続を最後に、2、3日ドタバタして、以前と同じことができるようになった。新しい機能があるようだが、それはこれからである。

最初買ったパソコン（昔は「マイコン」の方が一般的だった）はシャープのMZ-80Bだった。モニターとキーボード、カセットデッキ！が一体になっていた。実験の制御用に購入した。その後、NECの98になったと記憶している。いずれも据え置きタイプだ。そのうち、デスクワークもパソコンを使うようになり、家でも仕事をしたくなった。ラップトップのパソコンNECのLT、その後はソニーのVAIOを利用した。ソフトも現在のとは違っていた。日本語のワープロソフトは「一太郎」、それと互換性のあった「サスケ」（LTで使用した）、英語はWordStar、表計算ソフトはLotus-123だった。英文論文を書くのに、以前はタイプライターを使用したけど、随分と便利になったものだ。

パソコンを利用する人は意外と保守的だとの意見があるらしい。以下、パソコンを買い替えるのでドタバタした直後の偏った感想である。パソコンの利用者が皆コンピュータに詳しいわけではない。不安いっぱい試行錯誤でセットアップをし、なぜかわからないが！、とにかくマトモに動くようになった。そして、しばらくコンピュータに慣れ親しんでいく間にセットアップの苦勞を忘れていく。10年くらいして、コンピュータがガタついてくる。新しいパソコンに替えなければいけない。またあのストレスに満ちたセットアップをしなければならぬかと不安になる。コンピュータを使う人が保守的なものには、使い慣れ、親しみ、築き上げた環境を一から変えなければいけないからだろうか。